

2023 年度 自己点検・自己評価について

1. 学校の教育目標

専門分野の職業人である前に、人間として豊かな人間性を醸成しつつ高い専門性と的確な対応力を培い、福祉の各分野の充実に貢献し得る有能な人材育成をしていく。そのために学生に望まれる要件は、次のとおりとする。

- ①勤勉であること。
- ②人、物を大切にする心をもっていること。
- ③すべての人に明るく対応できること。
- ④基本的な生活習慣を正しく確立していること。
- ⑤公共心、協調性を身につけていること。
- ⑥目的意識、向上心をもち、積極的であること。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

<こども未来学科>

- ①専門職としての資質・能力の向上を推進する。
- ②新入生募集活動の推進を図る。退学者の防止を強化する。
- ③就職指導の充実度を高め、就職支援を推進する。
- ④教員の資質向上を図り、組織的かつ特色ある学科運営をめざす。

<介護社会福祉科>

- ①社会人・職業人としての自覚と所作が身につくよう指導した上で、本人に合った就職先に早期に就職がきまるよう支援する。
- ②生活支援、学力向上を図る。国家試験対策を充実させる。退学を防止する。
- ③介護社会福祉科と介護福祉士養成科を合わせて入学者 60 名を確保する。

<看護学科>

- ①個性を育みながら柔軟な思考と専門性をもって行動できる学生を育成する。
- ②看護師国家試験合格率の向上ができる。
- ③教職員の資質の向上を図り、組織的・機能的に学科運営を行う。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評 価 項 目	※1
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
・学校における職業教育の特色は何か	4
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3

※1 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

①課題

- ・学生へのフィードバック、保護者への説明が必要。
- ・学生が教育目標を意識しながら過ごすために、社会人基礎力・年間の自己目標の記載をさせているが、評価ができていない。

②今後の改善方策

- ・入学説明会を開催し、同日に保護者会も開催して周知する。
- ・学生と学年の中間・最終と面談（目標シートを用いながら）し次年度の目標につなげる。

(2) 学校運営

評 価 項 目	※ 1
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	3
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	3
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

※ 1 適切… 4 ほぼ適切… 3 やや不適切… 2 不適切… 1

①課題

- ・業務の簡素化
- ・自分の行為が就業規則に反していないか等を確認できるコンプライアンス意識向上の取り組みが必要。

②今後の改善方策

- ・校務分掌の見直し
- ・コンプライアンス研修は必要。法律やガイドラインを学ぶだけでなく、事例活用や社会的情勢の取り入れた研修を行う。
- ・コンプライアンスを意識して行動できるよう日々の行動計画を明確にして遂行する。

(3) 教育活動

評価項目	※1
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技、実習等）が体系的に位置づけられているか	3
・授業評価の実施・評価体制はあるか	3
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
・成績評価・履修認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	3
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

※1 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

①課題

<ul style="list-style-type: none"> ・多職種連携教育を継続して実施。各学科の学生が実感を持つことができるテーマ設定と、ロールプレイを取り入れるなどの工夫を行う。 ・学生の現状と到達課題とのバランスを考えて指導する。 ・教職員の資質向上のための研修を積極的に受講する。 ・進級あるいは卒業に必要な単位を取得するまでの過程として、欠席数が多い場合の補講や欠点による再試験の料金設定が難しい。補講料や再試験料が低いと勉強しない傾向にある。高くすると教育機関としてのモラルが問われる思いとなる。 ・学生の特徴（理解力の低下・集中力の無さ・他者の意見を聞き入れにくいなど）への対応が困難。 ・教員の現場での対応力や調整力の低下がある。

②今後の改善方策

- ・入学前に本校（各学科）のポリシー等を周知させる
- ・授業や各部の業務があり、時間的に難しいかもしれないが、各教員がもっと外部で研修を受ける時間や予算を検討する。
- ・容易な学習で進級や卒業をすることのないよう、補講料や再試験料を学則や規定にて事前に周知することにより高く設定することも可であるとする。
- ・学生の個別を早期にとらえ、密な指導を適切に行う。
- ・学年担当の教員の帰校を促し、指導時間を確保する。
- ・学習習慣を身に付けさせるための工夫を考える。（カリキュラム担当と国試対策（看護）担当教員を中心に）

(4) 学修成果

評価項目	※1
・就職率の向上が図られているか	4
・資格取得率の向上が図られているか	3
・退学率の低減が図られているか	3
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

※1 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

①課題

- ・就職の動き出しが、例年遅くなっている状況。早期始動。
- ・留学生を対象とした日本語授業は、これまで介護現場に即した授業を非常勤講師に行っていた。しかし、留学生からは介護の専門用語は他の授業や現場で学習するので、日本語授業では日本語スキルが向上できる授業をしてほしいという要望が多く寄せられた。
- ・期末試験直前に宿題が出ることから、期末試験勉強に専念したいという要望もあった。
- ・年々上がってきているものの、今年度の留学生の国家試験合格率は約67%だった。
- ・国試対策の結果の明確化が不足している。（個人面談が充実できていない）（看護学科）
- ・卒業生の動向が把握できていない。

②今後の改善方策

- ・学生の就職に対するニーズや、就職先の受入れ状況等、に合わせた就職支援を行う。
- ・留学生の要望への対応として、次年度の教科書は1年生の日本語能力に合わせた日本語教材を選定した。
- ・宿題の出し方は配慮していただくことになる。
- ・国家試験対策授業は2年生後期授業で行っているが、次年度は早期の外発的動機づけとして、留学生のみを対象とした授業を2年生前期から取り組み、合格率75%を目標設定とした。
- ・国試対策は教科修得と並行し進める。(看護学科)
- ・個人面談の機会を増やす。
- ・卒業生の動向を把握するための方法・時間の確保と在校生への情報提供を行う。

(5) 学生支援

評 価 項 目	※1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
・学生相談に関する体制は整備されているか	3
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
・学生の生活環境への支援は行われているか	3
・保護者と適切に連携しているか	3
・卒業生への支援体制はあるか	3
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

※1 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

①課題

- ・相談の内容が複雑な問題となっており、対応が困難な場合が増えてきた。
- ・保護者への対応も難しくなっている。
- ・学生の日常生活の状況把握と成績を関連させた面談ができていない。

②今後の改善方策

- ・多くの相談窓口を用意する。
- ・学生個々の指導を要する問題を早期に察知できるよう努め、個別指導を行う。

(6) 教育環境

評価項目	※1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
・防災に対する体制は整備されているか	3

※1 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

①課題

<ul style="list-style-type: none">・PCの不具合、Wifi通信の不安定・不具合でない場合もあり、PC操作の認識不足がある。・実習施設（看護）の変更があり確保が困難。

②今後の改善方策

<ul style="list-style-type: none">・定期的な点検を実施する。・実習調整を密に行い、確保できるようにする。・防災訓練を科目と連携させ、看護の視点で行動できるように指導する。
--

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	※1
・学生募集活動は、適正に行われているか	4
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3
・学納金は妥当なものとなっているか	3

※1 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

①課題

<ul style="list-style-type: none">・ダイレクトや日本語学校経由で入学してくる留学生を意識した広報体制を整備する。・情報発信の方法や精度、データの収集（他校の状況含む）→分析→戦略の強化が課題。・留学生の紹介関係先がエージェント1社と1施設しかない。・OC来校者の実情や希望を十分に把握できていない。・OC時に当校の実態を伝え切れていない。・少子化と大学志向・看護師の魅力等で応募者が減少。この状況下での募集活動が課題。

②今後の改善方策

- ・アンケートなど、データを活用し、効果的な発信方策を検討する。
- ・留学生の受験状況の多様化を鑑みると、エージェントの開拓・地元の日本語学校との繋がり強化・留学生向けのSNSの発信等、注力する必要がある。
- ・OC 来校者に手間をお掛けするがアンケートを実施させて頂き希望の把握に努める。
OC 来校後も担当職員がフォローできるように連絡先を把握し来校者の要望に応じて行く。
- ・OC 時に在校生と交流できる時間をつくり、来校者に入学以降のイメージを持って頂く。
- ・募集時の成績評定を下げ、受験（看護）しやすいようにしていく。
- ・高校訪問時に丁寧な説明を行う。
- ・OC の内容は継続する。

(8) 財務

評価項目	※1
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3
・財務について会計監査が適正に行われているか	4
・財務情報公開の体制整備はできているか	4

※1 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

①課題

- ・学生確保
- ・募集活動を強化し学生数の増加を図る。
- ・経費増のおり経費節約を進める。
- ・経費節約を考えるが授業での消耗品は省くことができない。
- ・国試対策で外部講師の協力で出費がある。

②今後の改善方策

- ・効果的な広報活動
- ・OC を中心によりきめ細かい学生募集活動を進める。
- ・経費節約の一助とすべく先期中に学内の照明を LED 照明に変更済み。
- ・経費を最小にとどめながら継続する。
- ・今年度も次年度も外部講師の協力を受けながら進める。終了時の学生の反応・学力結果を見ながら進める。

(9) 法令等の遵守

評価項目	※1
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3
・学校関係者評価の実施と問題点の改善を行っているか	3
・学校関係者評価結果を公開しているか	4

※1 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

①課題

<ul style="list-style-type: none">・ハラスメントが発生しない環境の整備が必要。・教職員のコンプライアンス意識の維持と向上。

②今後の改善方策

<ul style="list-style-type: none">・教職員から学生へのハラスメントが発生しないように研修を行うことに加え、利用者(学生及び父兄)から教職員がカスハラを受けないようにカスハラの定義と対処方法を学校として決め周知徹底する。・コンプライアンスの正しい知識と理解ができるよう研修機会を設ける。
--

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	※1
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
・学生ボランティア活動を奨励、支援しているか	4
・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

※1 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

①課題

<ul style="list-style-type: none">・地域貢献に関して、取り組みが少ない・コロナ禍でボランティア活動ができなかった。

②今後の改善方策

<ul style="list-style-type: none">・中長期的な計画の作成・ボランティア情報の発信方法の検討（SNS等）・地域の情報を各自で見つけ、貢献できるように勧める。教科外ではなく授業の時間に組み込むように検討する。
